

表現の自由にしろ、公共の福祉にしろ、民主主義にしろ、それにいかなる価値があるのかを自分の言葉で語るができなければ、「そんなものは守るに値しない」と言い切る人たちを説得して翻意させることはできない。

日本語の「翻意させることはできない」あたりを述語として表現できれば、「表現の自由にしろ～民主主義にしろ」と、「それに～できなければ、」が大きな修飾語になりそうです。かなり長い1文になってしまいそうですが、それ以外の方針が思いつかなかったのでこれで押し切ろうと覚悟しました。

A. 「そんなものは守るに値しない」と言い切る人たちを説得して翻意させることはできない。

日本語を見ると「説得して翻意させる」と 2 つの述語が並んでいます。が、そもそも、「翻意させる」は簡単には英語にできなさそうです。なのでそのイメージをしっかりと浮かべてみようと思いました。

(a) 人たちを説得して翻意させることはできない。

「翻意させる」というのは【考えをひるがえさせる】ことです。この文脈で言うと、「そんなものは守るに値しない」という考えを、「守るに値する」などと、ひるがえさせることです。

▪ S change A 「S は A を変える」

あたりがいけそうだと思います。

これを発想できた時、その前の「説得して」をどうするかも考えました。そのまま and を使ってつなげることも考えましたが、

▪ S persuade A to DO 「S は A が DO するよう説得する」

で一氣に表せることに気が付きました。

(1) S persuade A to DO

【説得する側】である S には、【一般の人】が入ります。we でも people でもいいと思いますが、ここでは you を使いました。【説得される側】である A には「人たち」なので、people を入れます。DO には「ひるがえす」に当たる表現を入れます。先ほど用意した、

▪ S change A 「S は A を変える」

を入れます。

(2) you cannot persuade people to change A

【変えられる対象】である A は、ここでは、people の【頭の中に浮かんでいるもの】です。a view でもいいと思いますが、ここでは an idea を使います。いろんな人がいて、いろんな考えがあることがイメージできたので、複数形である ideas に their をつけて、A に入れます。

(3) you cannot persuade people to change their ideas

(b) 「そんなものは守るに値しない」と言い切る

この部分は、people 「人たち」を文の形で修飾しています。関係詞 (S)(V) を作っていきます。とはいえ、手順は一緒です。まず述語から作ります。

a. (S) (V) と言い切る

「言い切る」は、【口を動かして音を発している】ことには変わらないので、単純には say が発想できると思います。が、「言い切る」という表現で感じる【キツパリ感】が不十分と感じ、assert 「断言する」あたりを引っ張ってこれると安心できます。

この表現は、

- S assert that (S)(V) 「S は(S)(V)と断言する」

ので使えるので、ちょうど「そんなものは守るに値しない」のセリフの部分を(S)(V)で表せそうです。

(4) S assert that (S)(V)

最後にこの部分を**関係詞(S)(V)**にする操作をします。**S**は意味的には **people** が入ります。二回目なので代名詞にしたいところですが、先行詞と一致します。なのでここに**関係詞 who** を入れます。

(5) **who assert that (S)(V)**

b. 「そんなものは守るに値しない」

(S)(V)の部分も、述語から始めます。「値しない」は、

▪ **S is worth DOING 「S は DOING する価値がある」**

を利用します。**【価値のあるもの】**が入る **S** には「そんなもの」を直訳にした **such things** にしてもいいと思いますが、それが指し示すものは「表現の自由」「公共の福祉」「民主主義」です。三つをまとめて、例えば **these concepts** にしてもいいと思います。ここでは後者を選びます。

【価値のある行為】が入る **DOING** には **protect** を入れます。**protect** は、

▪ **S protect A 「S は A を守る」**

を **DOING** の形にして入れると次のようになります。

(6) **these concepts are worth protecting A**

ここで注意事項を確認します。**S is worth DOING** を表現する際に、**DOING** 以下の中で、**S** と一致する部分がある場合、代名詞などを置いて処理するのではなく、単純にそこを空所にしておくという語法がありましたね。ここでは **A** には「そんなもの」が入ります。ここが **S** と一致する部分ですね。それを空にしておくので、**A** を抜いてこの部分は完了です。

(7) these concepts are worth protecting ϕ

c. a. + b.

そして(7)を(5) **who assert that (S)(V)の(S)(V)**に入れます。

(8) **who assert that these concepts are worth protecting**

(c) (a) + (b)

関係詞(S)(V)である(8)を、先行詞である(3) **you cannot persuade people to change their ideas** の **people** の後ろにつなげます。

(9) **you cannot persuade people who assert that these concepts are worth protecting to change their ideas**

ただ、これだと、**to change** が **persuade** の語法の一つであることがわかりにくいと感じました。そこで、**to change** を前にもっていき、その後ろに**関係詞(S)(V)**の部分置き、構造がわかりやすくなるように工夫してみました。

(10) **you cannot persuade people to change their ideas who assert that these concepts are worth protecting**

この場合 **関係詞(S)(V)**が修飾するものが不明になるという犠牲が生じますが、**関係詞 who**により、直前の **ideas** を修飾していないことはわかるので、構造上の分かりやすさを優先しました。

B. 表現の自由にしろ、公共の福祉にしろ、民主主義にしろ、

修飾語なので、末尾に注目します。

(a) …にしろ、～にしろ、××にしろ、

この部分は、この三つの中から【選択】をするかんじです。つなぎの語句は **whether** がいけそうです。

(11) whether (S)(V)

「表現の自由」は **freedom of speech**、「公共の福祉」は **social welfare**、「民主主義」は **democracy** です。これは覚えていないと、代替表現はなかなか見つかりません。

(b) (S) (V)

▪ **whether (S)(V) 「(S)(V)でも」**

の(S)(V)のどこかに、「表現の自由」、「公共の福祉」、「民主主義」の三つの表現を **A, B, or C** という表現で置くわけですが、そもそも、日本語から、述語が直接選べそうにありません。じっくりとイメージしてみます。

仮に【話題にしている】というイメージが出てくるのであれば、

▪ **S talk about A 「SはAについて話す」**

の **A** の中に置くことができますが、なかなか難しいですよ。【何か

を指し示している】というイメージなら、

▪ **S is A 「SはAだ」**

の **A** に入れるという考えを利用してもいいと思います。いずれにしるむずかしい発想でしたが、今回は後者を選びました。

(12) **S is A**

「表現の自由」は **freedom of speech**、「公共の福祉」は **social welfare**、「民主主義」は **democracy** です。これは覚えていないと、代替表現はなかなか見つかりません。これを **A** にごそっと入れ込みます。

(13) **S is freedom of speech, social welfare, or democracy**

最後に **S** です。後ろの三つの選択肢を示すものは、【**話題に出ているもの**】を表せる **it** を選択します。これはかなり難しいですね。

(14) **it is freedom of speech, social welfare, or democracy**

ほかにも手があることはあります。大胆にこの部分をなくし、**freedom of speech, social welfare, or democracy** の部分を、**these concepts** か、**what worth it has** の **it** の代わりに用いる感じですが、それも怖くてなかなかできないですね。

(c) (a) + (b)

whether (S)(V)の(S)(V)に(14)を入れます。

(15) whether it is freedom of speech, social welfare, or democracy

C. それにいかなる価値があるのかを自分の言葉で語るができなければ、

修飾表現は、つなぎの表現からです。日本語のつなぎの表現は、そのカタマリの末尾に来ることが多いので、「れば、」に着目しました。

(a) (S) (V) すれば、

これは、

- if (S)(V) 「もし(S)(V)すれば」

が利用できそうです。

(16) if (S)(V)

(b) それにいかなる価値があるのかを自分の言葉で語るができない

残りの「それに～語ることができない」の部分を文として理解して表現します。

a. WH (S) (V) かを自分の言葉で語るができない

表現する述語は日本語を参考に **talk** あたりだと思いました。が、今回はただ「語る」だけでなく、「自分の言葉で語る」です。【ある概念を自分の使える言葉で表す】には、

- S express A 「S は A を表現する」

がピッタリだと考えました。

(17) **S express A**

【表現する人】である **S** には引き続き **you** が入ります。**【表現する内容】**である **A** は、日本語を参考にすると、「それにいかなる価値があるのか」です。疑問文の形をしていることをヒントに、英語で間接疑問文 **WH (S)(V)**の形を使うことにします。

(18) **you cannot express WH (S)(V)**

b. それにいかなる価値があるのか

間接疑問文といえども、文は文です。述語から取り組みます。

「価値がある」は、**S is worth** や **S is valuable** を思いつきやすいかもしれませんが、「いかなる」のように**【種類】**を聞く疑問詞 **what** は、

▪ **what A 「どんな A」**

のように、**A** に名詞を入れることになっています。なので、「価値」を、名詞として含む表現で「価値がある」を作らなければなりません。そこで思いついたのが、

▪ **S has worth 「S は価値がある」**

を利用します。

(19) **S has worth**

【価値があるもの】の **S** には「それ」を利用して **it** を入れます。「いかなる」は **what** ですが、それが修飾する名詞、ここでは **worth** とセット

でカタマリの前に出てくるので、次のようになります。

(20) **what worth it has**

c. a. + b.

(20)を(18) **you cannot express WH (S)(V)の WH (S)(V)**に入れます。

(21) **you cannot express what worth it has**

最後に修飾語の「自分の言葉で」です。そのまま **with your own words** としてもいいですし、もうすでに作り上げた英語に **express 「表現する」**が入っているので、「ことば」の部分は訳出不要と考え、副詞表現で **yourself 「自分自身で」**を添えるのもありだと思います。今回は前者を採用します。

(22) **you cannot express what worth it has with your own words**

(c) (a) + (b)

if (S)(V)の(S)(V)に(22)を組み込みます。

(23) **if you cannot express what worth it has with your own words**

D. B. + A. + C.

そして **B.** と **C.** をそれぞれ **A.** の前後において、出来上がりです。

(24) **Whether it is freedom of speech, social welfare, or democracy, you cannot persuade people to change their ideas who assert that these concepts are worth protecting, if you cannot express what worth it has with your own words.**

A. と **C.** の間には、カンマを入れました。 **if (S)(V)** が直前の **are worth** を修飾しているのではなく、 **cannot persuade** を修飾していることを明示するためです。

Model Answer

Whether it is freedom of expression, social welfare, or democracy, you cannot persuade people to change their minds who assert that those concepts are not protecting, if you cannot express what worth it has with your own words.